

鶴の便り



令和6年9月10日
第165号
発行 夕鶴の里
住所 南陽市漆山2025-2
Tel 47-5800

『語り部養成講座』終了～後世に伝えよう民話のころ～

8月24日(土)、『語り部養成講座』の閉講式が、当館語り部ホールで行われました。この講座は、平成12年から開催しており、今年で24回目になります。

閉講式の中に、受講生の皆様の語り発表もありました。4回の講座に加えてご自宅等での自主練習も積まれた受講生の皆様から、素晴らしい語りを披露していただきました。

この講座は、次年度も実施する予定です。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。



発表後の受講生の皆様と講師の方々

☆☆受講生の感想より☆☆
楽しく練習できました。
来年も参加したいです。

講評

<大竹自主事業実行委員長より>
お一人お一人素敵な発表でした。楽しく練習していただいたことが一番です。



高橋 多美子 さん

受講生の皆様の発表の様子です

練習の成果が十分に発揮され、表情からも余裕が感じられる素晴らしい語りでした



星 美喜 さん

語り部さんを知ろうコーナー

語り部さんのことをもっと知りたい！皆様にも知っていただきたい！と思い立ち上げたコーナーです。

第2回目は民話会ゆうづる副会長、松橋信子さんをご紹介します。

①民話会ゆうづるへ入会したきっかけはどんなことだったのでしょうか？

45年間郷土を離れ、21年前にUターンした時、故郷の歴史や伝承語りに興味をもち、平成19年夕鶴の里語り部養成講座を受講し、すっかり昔語りにはまってしまいました。当時の会長さんにお声かけいただき、入会しました。



②お話されている民話の中で得意なお話は何ですか？

「真心の一文銭」人からの善意の大切さ、心やすまる鐘の音。「大淵の怪」昔話に詳しい方の自宅を何度も訪問し、くぐり滝や吉野地区の昔話を聞きました。私が幼い時、吉野川の洪水にみまわれ、家や橋が流された記憶もあります。

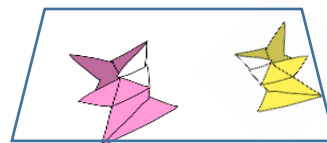
③民話を語るうえで大切にしていることを教えてください。

自分の話のイメージをしっかりとって、相手と快く通じ合えるか考えること。
自分の長所・短所・個性に気をつけること。

④語り部さんとして一番嬉しかったことはどんなことですか？

全国語りの祭りや北海道・岩手・仙台・東京等々での語りの会からお声をかけていただき、各地で山形の語りができること。様々な方々と出会い、お国なまりの昔語りができること。昔語りをして、「感動した」「楽しかった」「また、聞かせてください」と、二度三度とお声をかけて頂けたことです。

お知らせ



～昔のあそび～

『紙ずもうで遊ぼう』

日時：9月28日（土）10時～

参加費：一人 100円（参加費は当日いただきます）

定員：15名（電話にてお申し込みください）

連絡先：夕鶴の里 ☎47-5800 *定員になり次第受付を終了します。



お待ちしております～♪